



テブダック®の治療による 眼障害予防について



テブダックには、重大な副作用の一つとして、視力低下などの眼障害が報告されています。ここでは、そのような副作用を予防するための方法について説明します。

1. 点眼薬について

点眼①：眼の炎症を抑える目薬
(フルメトロン点眼液0.1%)
投与前日～3日目まで 4日間
両目に1日3回
(朝・昼・夕)

点眼②：眼の乾きを抑える目薬
(ヒアルロン酸ナトリウム点眼液0.1%)
投与 1日目～治療中は継続する
両目に1日6回
(6時・9時・12時・15時・18時・21時)

テブダック	投与前日	投与1日目 (当日)	投与2日目	投与3日目	～投与終了後 30日目
点眼①					
点眼②					

2. 注意事項について

- テブダックの治療期間中は**コンタクトレンズ**の装着は避けてください。
- 治療中止になっても、30日間は点眼②を続けてください。また、この期間もコンタクトレンズを使用しないでください。
- 治療中、以下のような症状がある場合は、速やかに病院に連絡しましょう。

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 目の充血 | <input type="checkbox"/> 異物感 |
| <input type="checkbox"/> 目のかすみ | <input type="checkbox"/> 目やにの増加 |
| <input type="checkbox"/> 異常にまぶしく感じる | <input type="checkbox"/> 目のかゆみ |
| <input type="checkbox"/> 目の痛み | <input type="checkbox"/> 見えづらく感じる |

3. テブダック投与当日に持参するもの

- ☐ 処方された目薬
(点眼①・点眼②)
- ☐ 薄手のハンカチかガーゼ
(冷却パックを包むため)

※冷却パックは通院治療センターで
準備します

テブダック投与当日は
眼の冷却と血管を収縮させる点眼を行います。

**冷却時間：テブダック投与開始5分前
～終了後30分まで**

血管を収縮させる点眼：テブダック投与直前





目薬のさし方



点眼方法

手順1. 石けんを使って手を洗う



手順2. 点眼する



- ① 天井を見るように首を後ろに傾ける
※首を後ろに傾けることがつらければ、寝転んでさしてみる
- ② 下まぶたを指で軽く引く
- ③ 黒目に向かって、目薬を1滴落とす

うまく点眼できないときは、【**げんこつ法**】を試してみる？

- ① げんこつを下まぶたにあて、軽く下に引く。
- ② げんこつに目薬を持つ手をのせ、1滴落とす

※目薬の先がまつ毛やまぶた、目に触れないように注意しましょう

手順3. 点眼後、まばたきはせず、軽く目を閉じる



手順4. あふれた薬液は軽くティッシュで拭き取る

手順5. 薬液が鼻やのどに流れないように
1分程度目頭を軽く押さえる



手順6. 2種類以上の目薬をさす場合は
5分以上間隔をあける

開封後の使用期限は、1か月が目安です
使いかけは破棄してください

(容器に記載されている使用期限は開封前の期限です)

